

第4回 西成区教育行政連絡会（公開の部） 議事要旨

1 日時

令和8年2月24日（火） 午後1時15分~午後2時20分

2 場所

西成区役所 4階 4-7会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティマネージャー兼教育委員会事務局区担当教育次長、区副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校長、鶴見橋中学校長、玉出中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校長、千本小学校長、まつば小学校長、長橋小学校長、北津守小学校長、南津守小学校副校長、新今宮小学校長（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

○ 令和8年度 西成区こども・教育関連事業の実施について

【説明要旨】

・資料2～5に基づき、令和8年度西成区こども・教育関連事業の実施について、子育て支援担当課長より説明を行った。

《西成区こども生活・まなびサポート事業》

・「不登校の実質ゼロ」を目指して、サポートが必要な児童生徒に対して、寄り添い型の支援を行う各支援員及び有償ボランティアの区低学年サポーターを各学校に配置している。

・区登校支援・見守り支援員、区学習姿勢向上支援員については、今年度から令和8年度にかけて変更点なし。

・区居場所支援員については、令和6年度より今宮中学校でモデル実施をしていたが、令和8年度より本格実施として、新たに2中学校を加えた計3中学校に1名ずつ配置予定。

・令和8年度以降、各支援員が児童生徒の支援のために、日帰りの校外学習に付き添った際の交通費について、1回当たり上限2,000円を支給する。

《外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業》

・学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して学習支援を行い、学力の向上を図ることをめざしている。
・日本語指導が必要な児童生徒数の増加を見込み、令和8年度は定員を44名に増やし、それに伴う講師の増員分として予算を増額している。

《学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業》

・模擬テストを実施して生徒の苦手分野を把握し、反復演習することで、学力の向上を図ることをめざしている。
・今年度から令和8年度にかけて変更点なし。

《発展型学習支援事業》

・成績中上位層を中心とした学習意欲のある児童生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することにより、さらなる学力向上を図ることをめざしている。
・令和6年度は事業初年度ということもあり参加者数が伸び悩み、児童生徒の学力に幅があるなどの課題があった。しかし今年度は、従来以上に広報に力を入れて取り組むとともに入塾試験を導入するなどし、改善を図ってきた。
・令和8年度より、生徒の状況や学力に応じたきめ細かな指導を行うため、従来の発展的な内容を学習するコースと、さらに発展的な学習を行う特進コースの2コースに分けて実施予定。また、会場ごとにコースを分ける予定であり、現時点では、梅南中学校会場ではこれまでと同様の発展的な学習内容のコースを、成南中学校会場ではより発展的な特進コースを実施予定。
・中学3年生以外の児童生徒は、2月頃に次年度への進級入塾するためのテストを実施し、進級する児童生徒は4月中旬頃から授業を開始予定。

《西成区基礎学力アップ事業（西成まなび塾）》

・小学校5・6年生又は中学生に対して、民間塾等事業者による授業を実施しており、大阪市習い事・塾代助成事業を利用できる。
・今年度から令和8年度にかけて変更点なし。

《基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）》

- ・区内小学校3・4年生に対して夏休みや平日の放課後や長期休みを利用して、塾等事業者による授業を実施する。
- ・定員については、児童が多かった時代に想定した定員を継続して設定していたが、この間の児童数の減少を考慮し、定員を270名から240名に削減している。
- ・令和8年度については、令和5年度まで実施していた検定試験を実施し、参加者のモチベーションの維持、達成感等につなげていく。

《学習支援サービス（マイクロステップ・スタディ）》

- ・岡山大学が開発したeラーニングシステムで教育委員会と連携して北津守小学校の3～6年生を対象に実施する。
- ・今年度から令和8年度にかけて変更点なし。

《プレーパーク事業》

- ・従来の子どもの居場所的な機能を果たすプレイス型と学習に繋がるイベントを実施する体験型の2つの形態で実施する。
- ・プレイス型の実施場所については、占有して使用が可能で、冷暖房設備も備えており、現在参加している方々の居住地のバランスも踏まえてアクセスのよいもと松通保育所を拠点とし、そこを中心に、もと松之宮小学校、もと今宮小学校、その他区内公園等で巡回開催を行っていく。
- ・体験型については、実施場所を今年度と同様、各小学校で1回程度の開催を予定しており、その他、区役所でも予定している。各小学校での開催については、調整などのご協力をお願いしたい。

《西成区こどもの読書活動推進支援事業》

- ・読書のきっかけづくりとして、年間の読量冊数に応じて賞状を贈呈する事業で、令和7年度からは区内の公立保育所、幼稚園に通う未就学児とその保護者にも対象を広げ、保護者による家庭での絵本の読み聞かせの取組も表彰の対象としている。
- ・令和8年度については、私立の保育所、幼稚園に通う未就学児とその保護者にも対象を広げて実施する予定。
- ・希望する学校や幼稚園、保育所については、区長が直接訪問して、区長表彰を実施させていただく。

《キャリア教育推進支援事業》

- ・区内の中学生を対象に、大阪府が連携協定を締結しているプロスポーツチームで活躍するゲストティーチャーによる出前授業を実施する。
- ・今年度から令和8年度にかけて変更点なし。

- ・令和8年度の実施校については、天下茶屋中学校、玉出中学校、梅南中学校の3校を予定している。

《大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業》

- ・西成区を拠点に活動する大阪フィルハーモニー交響楽団による出前授業を実施する。
- ・今年度から令和8年度にかけて変更点なし。
- ・令和8年度の実施校については、今宮中学校、成南中学校、鶴見橋中学校、岸里小学校、千本小学校、長橋小学校、北津守小学校、新今宮小学校の8校を予定している。

《西成しごと博物館》

- ・大阪府中小企業家同友会西成住之江支部と共同で実施しており、区内を中心とした近隣区の企業の皆様にブースを出展していただき、こどもたちにどんな仕事をしているのか見学や体験をしていただくイベントとなる。
- ・令和8年度の内容については協議中。

《帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業》

- ・帰国・来日等で支援が必要な児童生徒に対し、寄り添い支援を行うサポーターを有償ボランティアとして配置している。
- ・今年度から令和8年度にかけて変更点なし。

《小・中学校サポーター登録事業》

- ・学校で幅広い分野で活動していただけるサポーターを募集しており、帰国・来日等のこどもコミュニケーション事業のサポーターとして活動いただくこともある。
- ・今年度から令和8年度にかけて変更点なし。

【各学校からの主な意見・質問】

《学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業》

・天下茶屋中学校では、3年生は9月にチャレンジテストがあり、1年生は1月に実施される。また、統一テストの取組も実施しており、そのための予算を組んでいただいている。さらに、デジタルドリルの活用についても予算を組んでいただいている。

3年生については、1学期に統一テストを実施し、夏休みにはデジタルドリルを持ち帰って取り組めるようにしています。また、その結果は7月にいただけるため、結果を元に二次元コード等も工夫していただいております、とても有効だと感じている。

3年生については、デジタルドリルの活用について、夏休みで一定の効果が出ているというふうに思っている。

1・2年生については、12月に統一テストを実施していただいているが、テスト結果の返却がチャレンジテスト後になってしまうため、返却時期については検討していただければと思う。また、結果の返却は2月にあるが、問題用紙を3月2日までは返却してはいけないとのことなので、この点についても改善していただければと思う。

ただ、1・2年生についても、冬休みにタブレットを持ち帰って学習する取組として、「デジタルドリル」が生徒に非常に好評で、特に1年生では、英語と数学で1万問以上解く子どもたちもいる。学年末テストの時期には、元気アップ事業で実施している図書室での放課後学習の際にも、タブレットを持参して自主学習に取り組む生徒が見られるほどである。また、先生が出す宿題でも「デジタルドリル」を活用する場面も出てきており、この取組は本当にとっても良いものだと思う。

来年度についても、先ほど申し上げた改善点についてはいろいろお願いしたい部分があるが、「デジタルドリル」は本当に好評なので、ぜひ継続して実施していただきたい。

《こどもの読書活動推進支援事業》

・南津守小学校の取組として大きく4つある。まず、1点目が外部機関と連携した「生きた言語能力」の育成ということで、大きく2つある。

1つ目は、ジュンク堂書店（あべのハルカス店）とのPOP連携ということで、図書委員会の児童がおすすめの本の紹介文を作成し、大型書店の店頭展览展示している。大阪市総合教育センターと連携し、絵本の紹介だけや表紙の真似とかではなく、オリジナルの絵や文で、児童が自分の言葉で魅力を伝える指導を行っている。

年3回実施しており、ペンネームを使用して、プライバシーにも配慮している。

2つ目は、ジュンク堂書店展览展示するだけでは少しもったいないので、学校から西成図書館へアプローチを行い、返却されたPOPや掲示物をさらに引き続き掲示させていただいている。これにより児童の活動が地域の日々ふれる機会をつくっている。

2点目が西成区「こどもの読書活動推進支援事業」の推進（読書達人）。児童が設定した目標を達成したら読書達人になり、区長から表彰していただく取組。

3点目が地域・公共図書館との連携。1つ目は、「るんるん読み聞かせ」ボランティアを実施しており、地域の方による定期的な読み聞かせを行っている。2つ目は、市立図書館の団体貸出制度の利用として、例えば平和学習を行う際には、平和に関する本を集めて貸し出していただき、各教室に用意しているブックトラックに乗せて教室へ移動させている。

4点目が校内での取組。1つ目は校内で様々なアプローチを行っており、保健室など図書室以外の場所へ書籍を配置している。2つ目は児童同士が本の魅力を競う「ビブリオバトル」を実施している。3つ目はペアになって相手の意見を聞いて本を選んであげる「読みあい」活動。自分が良い本を選ぶということは、よくやると思うが、相手にいくつか質問して、ペアの児童が興味がある本を選んであげるということを実施している。

最後に今後の課題としては、量だけでなく質の面での転換が必要だと考えている。漫画や漫画的な内容の本も置いており、それ自体が悪いわけではないが、文字主体の本にも興味を広げていくことを、全体の重点課題として認識している。

【主な意見・質問に対する回答】

・年度当初から読書活動の話を度々しており、各校、読書の量が進んできたと思っている。これから各校に表彰状等の贈呈に行こうと思っている。学校の中には児童生徒一人一人に表彰状等の贈呈をしていこうと考えている学校もある。現在、区役所の担当者と調整中だが、私のこれまでの経験からいきますと、代表者のみに表彰状等を渡すというのは効果があまりない。一人一人に渡すのが難しくても、少なくとも表彰対象者全員の名前を読み上げることはモチベーションの向上につながると思う。多くの児童生徒が表彰対象になっていると時間が厳しく、物理的に予定された時間の中で収まるかどうかという問題はありますが、例えば1年1組〇〇さん、2組〇〇さんというふうに、少なくとも名前を読み上げるだけでも随分と違う。自分の名前が呼ばれたとか、友達やたまたまそこに居合わせた保護者がうちの子どもの名前が呼ばれたということが多々あった。

やはり、表彰状等として形になる物を受け取るっていうことは大変励みになり、校長先生や担任の先生以外の誰かから名前を読み上げられることは、非常に貴重な体験になるかと思う。私は、できたら褒めて育てたいタイプなので校の限られた時間の中ではありますが、どれだけ時間がかかっても10分と思っているため、可能な範囲で今から調整を受けていただけたらありがたい。

大阪フィルハーモニー交響楽団による出前授業事業について、参考までに紹介する。現在、西成区役所庁内では音楽が流れており、この会議室でも耳を澄ますと微かに聞こえるが、もともとは始業時と終業時にベートーヴェン等を流していたが、昼の時間や従事時間も含め、終日音楽を流すことになった。

現在は、大阪フィルハーモニー交響楽団から提供いただいた音源を、音量を落として流しています。今後は状況を見ながら、音量等を調整していく予定である。西成区を文化の香る区にしていくための、一つの実践になると考えている。

第4回 西成区教育行政連絡会（非公開の部） 議事要旨

1 日時

令和8年2月24日（火） 午後2時20分~午後3時00分

2 場所

西成区役所 4階 4-7会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティマネージャー兼教育委員会事務局区担当教育次長、区副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校長、鶴見橋中学校長、玉出中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校長、千本小学校長、まつば小学校長、長橋小学校長、北津守小学校長、南津守小学校副校長、新今宮小学校長（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

- 令和8年度入学 学校選択制の状況について

【説明要旨】

令和8年度入学学校選択制の状況について、窓口サービス課長より説明を行った。

【各学校からの主な意見・質問】

なし

○ その他

【説明要旨】

要対協実務者会議の開催時間及び進行方法の変更について、こども家庭支援担当課長代理より説明を行った。

【各学校からの主な意見・質問】

要対協実務者会議の開催時間及び進行方法の変更に関して内容を確認する質問があった。